

| 特集 |

実地医家が楽しく学ぶ

「熱」「炎症」、

街場の 免疫学・炎症学

「免疫」と言うと専門的に感じ、「炎症」と言うと急に身近になり、
そして「熱」と言えば実地医家が毎日でも扱う症候となります。

どんな専門性の高い疾患や稀な疾患でも、
元をたどれば必ず日常診療のありふれた症候とつながっています。

「免疫」は研究者や専門家だけのものではなく、
直接扱うことはなくても「今さら聞けない」病気たちの仕組みやメカニズムは、
実地医家が知っておいていいと私は考えます。

本特集の目次に並ぶ疾患・症候群は一見脈絡のないものですが、
まずはこれらを“雑誌らしく”拾い読みしてほしいと思います。
非専門医が免疫や炎症についてワイワイ話し合いアレコレ考えることを、

「街場の」免疫学・炎症学と名づけました。

日頃“人”をみる総合診療医にこそ、免疫に思いを馳せ
「患者さんの中で何が起きているか」という“教養”を学ぶ場が時に必要です。
そんな楽しい機会をつくりたいと、本特集を企画しました。

企画 | 國松淳和

そして「免疫」

今月の Questions

- Q1 「重症筋無力症」の可能性を除外する方法は? >>> 23
- Q2 「新型コロナウイルス感染症」に対して使用される治療薬は? >>> 28
- Q3 「IgG4関連疾患」は、どのような病態を呈しますか? >>> 36
- Q4 免疫チェックポイント阻害薬にて治療中の患者で「irAE」を疑った時に、
診断確定の決め手となるのは? >>> 42
- Q5 「免疫再構築症候群」では何が起こり、何が問題となるか? >>> 47
- Q6 「初発の幻覚妄想状態」で注意することは? >>> 53
- Q7 「亜急性甲状腺炎」を診断するために重要なことは? >>> 58
- Q8 「潰瘍性大腸炎」と「Crohn病」は何が違うか? >>> 62
- Q9 「炎症か、腫瘍か」が問題となる症例の病理診断を依頼する際に重要なことは? >>> 66
- Q10 総合診療医／総合内科医が「血液疾患診療」を行う意義は? >>> 72
- Q11 実地医家が外来で「ステロイド」を処方してもいいですか?
ステロイドの使い方がわかりません。 >>> 78
- Q12 炎症・免疫は「てんかん」にどのように関与しているか? >>> 83